

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和5年12月12日（火）

2 確認箇所

- (1) 地下水バイパス一時貯留タンクエリア
- (2) サブドレン他水処理施設一時貯水タンクエリア 他

3 確認項目

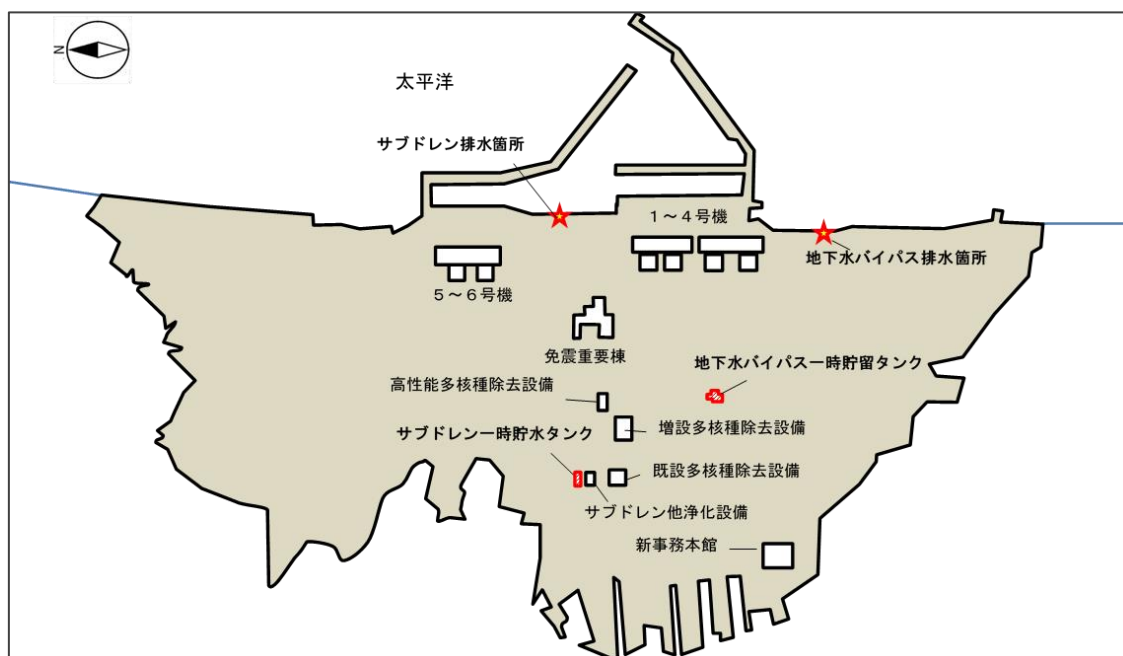
- (1) 地下水バイパスの排水状況
- (2) サブドレン処理水の排水状況

4 確認結果の概要

福島第一原子力発電所では、原子炉建屋等に流入する地下水量を低減するため、地下水バイパスやサブドレン他水処理設備などの施設を設置し、運用目標に適合した水質の地下水を定期的に海洋へ排水している。

今回、地下水バイパス一時貯留タンク及びサブドレン他水処理施設一時貯水タンクからの排水が予定されていたことから、状況を確認した。(図1)

(前回確認：[令和5年3月15日](#))



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図

(1) 地下水バイパスの排水状況

地下水バイパス一時貯留タンクは全9基からなり、3基毎にグループ1から3までに分けられている。今回はグループ1から排水が行われた。

(写真1)

- ・東京電力社員が、排水を行わないグループ2及び3の排水弁が「全閉」となっていることを確認していた。(写真2)
- ・東京電力社員が、排水を行うグループ1の排水弁を「全閉」から「全開」にする作業を実施した。(写真3)
- ・東京電力社員が、タンクエリアにおけるポンプが起動したことや、ポンプや周囲の配管に特に異常が無いことを確認していた。(写真4)
- ・排水開始後、目視の範囲で施設に異常は確認されなかった。
- ・東京電力社員が、排水箇所を確認していた。それによると排水箇所に異常は確認されなかったとのこと。(写真5)



(写真1)

地下水バイパス一時貯留タンク
エリアの外観 (北東側から撮影)



(写真2-1)

排水しないグループ2排水弁の「全閉」確認状況



(写真2-2)

排水しないグループ3排水弁の「全閉」確認状況



(写真3-1)
グループ1排水弁の「全開」作業状況



(写真3-2)
グループ1排水弁の「全開」状況



(写真4)
ポンプ起動後の確認状況



(写真5)
東京電力による排水箇所の確認状況

(2) サブドレン処理水の排水状況

サブドレン他水処理施設一時貯水タンクは全11基からなり、今回はこのうち1基(タンク(B))から排水が行われた。

- ・排水にあたって、東京電力社員は、排水予定のサブドレン他水処理施設一時貯水タンク（B）以外の出口弁の「全閉」を確認していた。（写真6）
- ・その後、サブドレン他水処理施設一時貯水タンク（B）の出口弁の「開」操作が実施された。なお、地下水バイパス一時貯留タンクの排水と同様に東京電力社員が手順に沿って作業を行うとともに、スマートフォンを用いた免震重要棟集中監視室の当直員とのクロスチェックも実施していた。（写真7）
- ・サブドレン他水処理施設一時貯水タンク（B）出口弁の「開」操作後、免震重要棟集中監視室からの遠隔操作により移送ポンプ（B）が起動された。なお、移送ポンプ稼働後も施設に異常は確認されなかった。（写真8）
- ・排水開始後、目視の範囲で施設に異常は確認されなかった。また、物揚場北側のサブドレン処理水排水口を確認した。（写真9）



（写真6）
タンク（B）以外の出口弁「閉」の確認状況



（写真7-1）
タンク（B）の出口弁「開」操作状況



（写真7-2）
タンク（B）の出口弁「開」状況



(写真 8)
浄化水移送ポンプ起動後の確認状況



(写真 9)
サブドレン処理水排水口の状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。